



イケケン先生の『恐縮ですが…一言コラム』

第 568 回 単純でない中国で、今、何かが蠢(うごめ)いている。

2014.3.16

ニュースサイト「時事ドットコム」に、「北京時事」の記事として驚くべきニュースが載っていた。それによると、…中国の全国人民代表大会に提出された 2014 年の予算案のうち、国内の治安維持などに使われる「公共安全」関連予算は、中央政府分で前年実績比 6.1%増の 2,050 億 6,500 万元(約3兆 4,100 億円)に達した。

ただ中央政府分より多い地方政府分の予算は今年、非公開となり、全容は不明だ。公共安全関連予算は昨年、7,690 億 8,000 万元(うち中央政府分は 2,029 億 3,700 万元)で、2010 年以降、4年連続で国防予算を上回った。14 年も中央分を上回る地方政府の予算が計上され、トータルでは国防予算と同規模の額になったとみられる。(2014/03/05-18:02)…

出典:「時事ドットコム」 <http://www.jiji.com/jc/zc?k=201403/2014030500777>

新聞およびインターネットを報道媒体とする多言語メディアである「大紀元」がこのほど入手した情報によると、過日「昆明」で起きた無差別殺傷事件も、先月末「香港紙・明報」の前編集長が襲われる事件も、江沢民一派が勢力下にあった武装警察を使い仕掛けたものだという。江一派は各地で混乱を起こし、新たな政変を企んでいるとの報道があった。

出典:「大紀元」2014/3/7 <http://www.epochtimes.jp/jp/2014/03/html/d69701.html>

真偽のほどは定かでないが、今、中国国内で何かが蠢(うごめ)いているようだ。正直言ってこの国は、乏しい我々の知識や、日本人が持つ倫理観、常識といった物差しでは、とても計りきれないところがある。今、改めて中国の異様さの再確認…である。

面積は日本の 25.6 倍、そこに約 13 億 5,400 万人の国民がいる、世界第 2 位の経済大国。その中身は多民族で構成される。政府が認定している民族が 56 あり、人口の 9 割以上が「漢族」、その他の 55 民族が少数民族といわれている。55 の少数民族の人口は 1 億 2,333 万人で、全国総人口の 9.44%を占め、人口が 100 万人を超える少数民族は 18 もある。

そのうち「チワン族」の人口が 1,671 万 8,800 人で、最も多い少数民族である。中央政府は民族により「区域自治」の領域を決め、文字・言語、財産の管理権、一定規模の警察・民兵等、区域内で通用する一定の事項を認めている。

特に 5 つの「民族自治区」、内モンゴル自治区、新疆ウイグル自治区、寧夏回族自治区、チベット自治区、広西チワン族自治区は、「ミニ国家」レベルとって良いかもしれない。

少数民族は人口が少ないとはいえ、国土の 60%以上の地域に分布している。少数民族のうち 53 の民族はいずれも自民族の言語を使っている。1つの民族に 2 種類、それ以上の言語を使っている民族もあるので、全国の少数民族の言語は合計 72 種類となる。

国土内に時差もなく、総じて「単一民族」(厳密に言えば意義あり!だが)、「単一言語」である日本人的思考では、及びもつかぬ事態が平気で起こる。日本ほど単純でない要因が多い中国、複雑な要因が多ければ多いほど、抱える問題は多岐にわたるに違いない。中国の国内問題が、我国はもちろん、世界を混乱に巻き込むことのないよう、祈るばかりである。